

## 第 387 回

1 から  $2k$  ( $k$  は自然数) までの連続する自然数を  $k$  個ずつ A 組, B 組の 2 組に分け, A 組の数を  $a_1, a_2, \dots, a_k$  とし, B 組の数を  $b_1, b_2, \dots, b_k$  とする。  $b_1, b_2, \dots, b_k$  のうち  $a_1$  より小さいものの個数を  $m_1$  とする。同様に B 組の数のうち  $a_2, a_3, \dots, a_k$  より小さいものの個数をそれぞれ  $m_2, m_3, \dots, m_k$  とするとき,  $(a_1 + a_2 + \dots + a_k) - (m_1 + m_2 + \dots + m_k)$  の値は A 組, B 組の 2 組の分け方に関係せず一定な値を取る。この一定値を求めよ。

**解答** 1 から  $2k$  ( $k$  は自然数) までの連続する自然数を  $k$  個ずつ A 組, B 組の 2 組に分けたとき, A 組の数を小さい方から並べて  $a_1, a_2, \dots, a_k$  とし, B 組の数も小さい方から並べて  $b_1, b_2, \dots, b_k$  としても一般性は失わない。

すなわち,  $a_1 < a_2 < \dots < a_k, b_1 < b_2 < \dots < b_k$  とする。

$$\begin{aligned} & (a_1 + a_2 + \dots + a_k) - (m_1 + m_2 + \dots + m_k) \\ &= (a_1 - m_1) + (a_2 - m_2) + \dots + (a_k - m_k) = 1 + 2 + \dots + k \quad (*) \\ &= \frac{1}{2}k(k+1) \quad \text{答} \end{aligned}$$

(\*) **証明**

( $a_1 - m_1$  の値について)

$a_1$  より小さい数は  $(a_1 - 1)$  個ですべて B に含まれているから,  $m_1 = a_1 - 1$

よって,  $a_1 - m_1 = 1$

( $a_2 - m_2$  の値について)

$a_2$  より小さい数は  $(a_2 - 1)$  個でその中に  $a_1$  が含まれているから, 残りは B に含まれていることになる。その個数は  $(a_2 - 2)$  個であるから,  $m_2 = a_2 - 2$

よって,  $a_2 - m_2 = 2$

以下同様に,  $i = 3, 4, \dots, k$  の場合

( $a_i - m_i$  の値について)

$a_i$  より小さい数は  $(a_i - 1)$  個でその中に  $a_1$  から  $a_{i-1}$  の  $(i-1)$  個が含まれているから, 残りは B に含まれていることになる。その個数は  $\{a_i - 1 - (i-1)\} = (a_i - i)$  個であるから,  $m_i = a_i - i$

よって,  $a_i - m_i = i$  **終**

(2020/6/25 ジョーカー)